常磐毎日新聞

日刊

二月二十八日　夕刊

定價　一部金六錢　一ヶ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
磐城國平町字長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は北西の風　晴
明日は南東の風　晴

酌婦を一室に檻禁
鬼畜の私刑事件
打つ蹴る殴るの酷々しさ
瀕死の身を平署に駈込む
社會問題として法の制裁
慘虐親娘を檢擧

薄幸な人生に泥沼へ落ち込み前借故に春をひさぎ膏血を絞られ、涙に暗黒生活を送る暗闇に咲く女達の生活に數多い悲慘劇は繰返されてゐるが、これは何と言ふ無殘なる私刑であることか籠の鳥なるが故に主人の無理難題を甘受せねばならぬ女達の生活こそ眞の涙の生活であり忍從の生活であり諦觀の生活であるが、その弱身につけこんだこのむごい所業は由々しき社會問題として法の制裁の前に社會的に葬られねばならぬ鬼主人のサンプルである

二十七日未明平署に蒼然として自動車を乗りつけた一見二十七、八才の水商賣風の女が〃助けて下さい〃と叫んだまゝバッタリと倒れてしまつたので

署員が 駈け寄つて介抱、事情を聽取すると『私は二十五日夕から飯は愚か水さへも呑まされません』と息も絶え〃なので早速紺屋町藤沼醫院にかつぎ込み

手當を 加へる一方更に事情を追究すると女は内郷村綴字一坪五一料理店松の屋こと齋藤テフ(五〇)方酌婦金子ヨシ(二八)と言ひ二十五日夕『お前は主人の金を盗んだらう』と廊下に蹴ころがし打つ蹴る殴るの責め折檻の揚句剰へ着物を剝ぎ麻繩で

手足を 縛り三疊の蒲團部屋に監禁して女將テフの内縁の夫日野炭礦坑夫四家鶴松(五六)と娘セキ(一六)假名—親子三人が一處になつて猿グツワをはめて暴行を加へ飯は愚か水さへも與へず代る代る虐待を加へるのでヨシは遂に苦しさに耐へられず二十七日朝曉家人の隙を覗ひ

臺所に 這つて行き菜切り庖丁で繩を絶ち表へ忍び出し折柄通りかゝつた自動車を呼びとめて平署へ救ひを求めたもので急を聞いた平署では新任伊藤司法主任指揮のもとに警官數名が現場に驅けつけ親子三名を檢擧すると共に

現場の 臨檢を行ひ一方身柄を本署に連行不法監禁暴行傷害で嚴重取調べを開始したがヨシは全身紫色に染まる打撲傷を受け顔面數ヶ所にも擦過傷を受け殆ど瀕死の狀態で口も開けず絶體

安靜を 要する爲め恢復を待つて事情を聽取することになつたが全治までには三ヶ月乃至四ヶ月を要する見込みであるが、平署でも鬼畜に比しいこの慘虐な私刑事件に驚愕し早速縣刑事課、平檢事局に報告すると共に親子三名を留置この種の封建的私刑を根絶するため徹底的に嚴罰することになつた

薄幸流轉の女

慘忍な主人の生贄となつた金子ヨシは東京市本郷區駒込千駄木町一一牛乳商鬼次郎の長女で十數年前金をもつて實家を出奔埼玉縣所澤を始め各所を轉々放浪去年十月十八日小名濱町料理屋坂井イシさん方から前記松の屋に鞍替して來たもので前借は二百五圓ある

死の一歩前

藤沼醫師が語る右につきヨシを診察した藤沼醫師は語る

飲まず喰はずに三日、よくあれ丈けの傷を耐へて生きてゐられたと思ひます、もう一日あのまゝでゐたらば死んでしまつたでせう

青柳警察部長巡視

青柳警察部長は今二十八日午前八時自動車で來平平署を監督視察し植田署に向つた

平商卒業見學
難波製糸工場へ

平商五年生七十五名は卒業式を前に今二十八日武川教諭に引卒され市内難波製紙工場を見學する

非常時局に對處
一般經費を節約
平の新豫算市會開く
三日迄休會

市長の議案說明

既報—十三年度の豫算を附議すべき平市會は本廿八日午前十一時より開會、野崎議長次席の爲め蓮沼副議長が議長席に着き靑沼市長から大要左記の如き說明あつて議案調査の爲め三日迄休會し四日午前十時より再會と決定、急施議案として

商業學校建築費起債の件、平商業學校舊校舍處分の件、昭和十二年度平市歳入更正豫算の件

を異議なく可決確定、午後十二時半散會した

昭和十三年度市歳入出豫算に關しては本月二十五日内示會に於て大要說明せる如く之が編成に付ては非常時局に對處する政府の財政方針に順應し且つ監督官廳の指示又は注意に從ひ一般經費は努めて整理節約を圖り又一面に於ては本市政將來の進展向上と市民の福利增進とを考慮按配し財源の許す範圍内に於て新規の施設を爲すの方針を採つたのであります從て既定經費に付ても苟も節約の餘地あるものは之が節約を圖り昭和十二年度豫算に對しては二月以降に於ける收支見込額の調査をなし年度末迄の剩餘額を定めて其の節減實行を期せしめつゝある現況にして人件費の如きも概ね現員現給を原則とし役所費書記以下及傭人に對しては平均壹圓の增額に止め、應召吏員、傭人に對する補充も特殊なるものを除く外は之が補充を爲すこと無く所期の實績を擧ぐるに最善の努力を致さむとする次第であります然れども時局に於ける影響は物資資金の急激なる需要增大等に起因して諸物價、勞銀等の騰貴著しく、或は現品不足（水道工事用品の如き）等に依り工事諸材、勞銀及各款需用費中印刷、消耗品等の一般的に增嵩せるものは蓋し止むを得ざる所であります而して第一小學校及第四小學校各一學級增加に伴ふ敎育費の增加は自然の趨勢にして其の他新規の施設と認むべき事項は

衛生費中に 診療所費を計上

勸業費中に 度量衡技手設置に伴ふ諸費を計上

社會事業費に 母子保護法に基く諸費、隣保館助成費、授產事業助成費を計上

財產費中に 巡査派出所の建築費を計上

寄附金に 新川改修費磐城橋架換費、磐城高等女學校增築費寄附を計上

補助費に 國防婦人會果樹組合補助を計上

特別會計繰入 特別會計に屬する公益質屋經營費に繰入金を計上し

更に平窪地内に於ける道路及橋梁は相當荒廢せるものあるを以て之が修理架換の必要を認め又第四小學校設備は改善を要するものあるを認め之に要する經費を計上し

經常部計	一九三、五六〇円
臨時部計	二二七、六二〇
合計	四二一、一八〇

の計上を見た次第であります

前年度豫算は市制實施當初即ち六月以降三月に至る十ヶ月間の豫算にして本市最初の事に屬し相當整理改善を要するものあり、從て十三年度豫算は前年度豫算に比し項目の排列順序を變更又は組替をなせるものあるを以て比較增減は大體の參考に過ぎません

更に歳入に在りては使用料、手數料に於て條例の改正及學校授業料の自然增加道路占用料の增收及社會事業費增額に伴ふ國庫補助並縣補助其の他公會堂縣補助の增額あるも他は概して增收の見込なく、殊に國庫下渡金に於て法第三條後段に依る交付金約（一二、八〇〇圓）財政調整補給金（三四、二四五圓）の減額及繰越金、雜收入等の減額多額に上り就中國庫下渡金及補給金（三二、二四五圓）は之が交付を見越して豫算に計上し得ざるを以て勢ひ之が補塡財源を市稅の增加に需めた次第であります、即ち

地租附加稅
特別地稅附加稅
營業收益稅附加稅
縣稅家屋稅附加稅

に對し知事の許可範圍内に於ける制限外課稅をなし或は不均一課稅の方法に依り增收を圖り其の不足額は止むなく之を特別稅戶數割に需めたる結果戶數割は前年度に比し一戶平均六圓七十九錢の增加を示すに至つたのであります

然れども追て財政補給金の交付、義務敎育費國庫負擔法第三條特例に依る下渡金等大體前年適位の交付を受くるに至れば更に戶數割の更正減額を爲すことを得て相當の負擔輕減が出來ること〃確信するものであります

特別會計に屬する市營公益質屋歳入出豫算は合計六六、五七三圓にして内六〇、〇〇〇圓は借入金を以てし他は一般會計よりの繰入金一、八九三圓と貸付金利子及雜收入を以て充

久振りの大漁に
小名濱港賑ふ
鰯漁船續々漁場へ出動

小名濱港の鰯漁船は舊正月明けから薄漁なので何れも在港漁撈を見合せてゐたが、去る二十五日頃より魚群が近海沖に來游じて來たとの情報に續々出港、先發船は久慈沖で大群と遭遇大漁の快報に濱は遽に活氣づき續々と歸港、久し振りで濱には鰯の山が築かれ、閑散であつた魚市場は急に盛賑を極めてゐる

先遣隊の重任は
正に男子の本懷
滿蒙開拓青少年義勇軍壯行の辭
平市長　青沼鋒太郎

我日本帝國と滿洲國との關係は諸君も御承知の如く昭和七年三月一日滿洲國成立致しまして同年九月十五日締結せられたる日滿議定書に明示せらるゝ通り政治、經濟、國防、產業等何れも不可分一體であつて全く唇齒輔車の關係にあるのであります從つて滿洲國產業の開發は之即ち帝國の人口問題糧食問題を解決すべき唯一の方法であるのみならず彼の地に多數の移民を送ることは國防上の見地よりするも極めて緊要であります。

從來帝國が數次に亘り滿洲國に移民團を送り且つ將來も多數の移民を送るべき計畫をなしつゝあるは此趣旨に外ならないのであります、殊に新進氣鋭の若人を滿蒙の沃野に進出せしめ心身練磨の大道場となし日滿を貫く雄大なる皇國精神を鍛練陶冶し滿洲開拓の中堅たらしめ、以て兩帝國の國策遂行に貢獻することは最も重要な事であります。今回政府に於て滿蒙開拓青少年義勇軍を編成するため農村の模範青少年を募集し滿洲開拓の先驅たらしめんとするは時局重大の折柄誠に適切なる計畫であると信ずるのであります、而して諸君は多數の志願者中より簡拔せられ先遣隊としてこの重任を帶ふるに至りましたることは男子の本懷この上もないことでありまして慶祝措く克はさる次第であります。

今や皇軍將兵各位は暴支膺懲のため勇戰奮鬪中でありまして國民また擧つて銃後の護りを固ふするため懸命の努力を拂ひつゝあります。

戰場に在つて銃劍を握り戰ふ將兵も鋤鍬を取つて產業開發に努力する勇士も國策遂行のため國家に貢獻することに於て國民としての務めには何等の差がないのであります、殊に皇軍大捷の結果北支は明朗化する秋、滿蒙の開拓に從事する人々の責務は一層重大であります この秋に方り諸君は大なる抱負を以て敢然として鄕關を離れ壯途に就かんとすることは誠に心強く感ずるところであります行け諸君、滿蒙の天地は双手を擧げて諸君の渡滿を歡迎して居ります、熱烈なる希望に燃える諸君の前途は洵に洋々たるものであります。

又其の反面には幾多の困難が伴ふことを覺悟せねばなりません、故に培はれたる盡忠報國、堅忍持久、質實剛健の精神を以て王道樂土の建設に渾心の努力を拂はれむことを熱望して已まぬものであります。

世は擧げて未曾有の超非常時局であります、時は將に春寒料峭の候切に諸君の御健康を祈ると共に滿腔の誠意を捧げ前途を祝福して壯行の辭に代へる次第であります。

昭和十三年二月廿六日

飾窓を覗く
平市の商店街
（二）

▽…昨日の日曜は好天氣に惠まれ公園は春を樂しむ人達の往き來に賑はひ梅漸く微笑ひ公園を下りてウインドウ探訪にと街へ……。

▽…先づ紺屋町の佐々木文房具店のウインドウに吸ひ寄せられる硝子板に印された

見よ東海の空明けて旭日高く輝きて……

愛國行進曲は道往く人々に時代を認識されそれと相俟つてパイロット萬年筆の新鮮味を帶びたポスター西北角に面する角店故に光線に惠まれないと言ふハンデイはあるものゝ何時も嶄新味を追つて陳列法を代へて行くところなど主人の頭腦明晰が偲ばれる

▽…べーヴにまろびる春風を頰に受け足を本調に轉ずる全く、春らしい往還する自動車のほこりが目立つ矢張り春なればこそだ土橋鹽局のウインドウの前でストツプ……時計を見ると十一時を過ぎて居る老舗の重々しさを見せるウインドウの前に立つてゐると空き腹の記者に遠慮もなく罐詰が御惣菜がウインクを投げ、トタンに唾液を呑みこんで觀察を初める眞新しい事變ニユース寫眞と共に二間大の大ウインドに雜列された味覺のサンプルが態容を整へ、チエツ呑込んでも出る唾液にどうも空き腹に食品店のウインドウは苦手か

（つゞく）

市農會の初惣代
卅二名決定
きのふ選擧執行

平市農會惣代の初選擧は昨二十八日第一區（舊平町）第二區（舊平窪村）に別れ、第一區は平國体事務所に第二區は元平窪村役場で執行當選者は左の如し

△第一區

三二票	猪狩忠客
三一〃	吉田寅之輔
二五〃	花澤兎五六
二五〃	諸橋久太郎
二二〃	三森清重
二一〃	諸橋國松
二〇〃	荒川恒次郎
二〇〃	猪狩角吉
一七〃	青木甚平
一六〃	高木伊勢松
一六〃	松崎哲太郎
一六〃	關内正一
一五〃	松崎長太郎
一四〃	大野倉七
一三〃	鈴木重太郎
一二〃	猪狩彌作

△第二區

三五票	吉田廣一
三一票	鈴木美雄
二八〃	根本久光
二七〃	上妻貿次郎
二五〃	金成清保
二三〃	福田長一郎
二〇〃	藁谷藤太郎
一九〃	大山新次郎
十七〃	鈴木多次郎
十七〃	高田彌惣治
十七〃	小野長一
十七〃	高萩森之助
十七〃	木田信市
十六〃	長瀬三喜郎
十四〃	薄葉竹松
一〇〃	櫻井政光

子なきを果敢なみ
炭燒の妻縊死

上小川村大字上小川字江田國有林六十六班は居住炭燒業菅波皆治さん内縁の妻草野トメ(四三)さんは連れ添つてから二十年子供がなく病身のところから常に厭世的になつてゐたが二十五日夜夫の寢靜まつた際を覗ひ下の小屋で縊死を遂げた

公金橫領逃走の
元赤井村收入役
五日平區裁の公判へ

（既報）公金を橫領逃走中朝鮮新義洲驛で逮捕された元赤井村收入役同村大字赤井字田町三二矢野淸市(四六)は過般平檢事局の取調べの結果〃業務上橫領罪〃で起訴されたがこれが公判は來る五日午前十時から平區で淺野判事係り富澤檢事立會、門傳辯護士列席の下に開廷される

平商大澤敎諭

平商の大澤敎諭は三泊四日間の豫定で北陸方面の商業敎育を視察する事となり來る二日出發する

薪採りに
出て溺死

湯本町字向田四六無職齋藤久藏(六三)は精神に異狀を呈し左足が不自由なところから家人が警戒中、二十六日午後二時頃家人の隙を覗ひ鉈と繩をもつて日頃好きな薪取りに行つた儘夜になつても歸つて來ないので附近の人々の應援を得て搜索中、二十七日午前八時頃同町淺貝灌漑用水池に誤つて顛落溺死体となつてゐるのを發見した

小野一等兵
名譽の戰死

山田村生れ當時渡邊村田邊出身一等兵小野勤君はこの程名譽の戰死を遂げた旨戰友から鄕里へ傳へられたが家庭にはマス子夫人と兩親があり實直な青年であつた

伊藤警部補來任

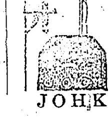
平署司法主任に榮轉した伊藤章警部補は昨二十七日來任今二十八日各方面へ挨拶廻りをなした

郡商校長
平青年校視察

郡山商業學校長吉田專治氏は今二十八日來平午後六時半から九時半迄青年學校の敎育を視察

敎務主任會

平市及び郡内各小學校の敎務主任會は既報の如く今二十八日午前十時から平第一校講堂に開き兒童の職業指導方法に關し協議した



今晩の部

▼後六、〇〇 お話物の出來るまで「新聞」北野吉内
▼後七、四〇 講演「科學界のトピック」工博河合定二
▼後八、〇〇 常磐津「兩顔月姿繪」（出演）（淨瑠璃）常磐津政太夫乘喜太夫、（三味線）
▼後八、五五 浪花節「孝子音古綱の譽れ」東家の鶴燕
▼後九、三〇 時報 ニユース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼後七、四〇 講演（新京より）「建國六周年に際して」滿洲國國務總理張景惠
▼後八、〇〇 獨唱と合唱「滿洲國時局國民歌」武藏野音樂學校生徒
▼後八、三〇 漫才「お利口なお子さん」浪速シカク外
▼後八、五〇 浪花節「勝五郎の義俠」玉川勝太郎

白柄組異變

大島多慶夫作
井川洗厓畫
布施長春畫
村瀬春映畫

……三七八……

まごゝろ〔五〕

湯女は、やうやく人心地ついたやうにニタリと笑つた。

長兵衛も源太も、春之助のこの術は彼の切支丹宗のキヤピテンと崇められた森宗意軒から學んだものと考へたのであつた。

『一つ、俺もお眼に[illegible]技をして頂きたい』

と、長兵衛はホヽ笑ひ乍ら云つた春之助も靜かに笑つて見せたが、默つてカラになつた盃を手に取つた湯女は惚々として嬌態をつくつて酌をしてやつた。

緣側にみしり〱と跫音が聞えた、長兵衛も源太もそれは判らなかつたが、春之助にはそれが忍びの術にある跫音であるといふことが判つた。そして、この忍びの術を會得してゐるものは、必ず森先生から傳授を受けたに相違ないと思つた。

『誰ぢや』

と、春之助は聲をかけて腰をうかした。

廊下の曲者？

それは直に覺とられたと思つたか、ホヽヽ、と艶めかしく笑つたそして、いきなり緣側の障子を開けたが、彼のおろくが裲を長く引摺つてにこやかに立つてゐる。

『おゝ、おろくか』

と、長兵衛は笑顔をして迎へたおろくは靜かに入つて來たが、源太の傍らへ[illegible]つてベタリと[illegible]をもたらせかけた。

『大納言様、お杯を下さんせ』

『うむ、やらう』と、源太は[illegible]と飲んで、酒杯をおろくへさして、

『最うあの仁は歸つたか、佐の[illegible]しい女房は……。』

『久し振で酒を飲んでごさんす、どうして歸されませう』

『えつ、[illegible]るな』

と、源太はおろくの膝を[illegible]つて見たが、痛いやうな顔を見せずに、じつと春之助の方を眺めてゐる。その眼と眼がピタリと合ふとおろくはニタと物凄く笑つた

『帝兵衛さんはどうしやしやんしたらう』

と、おろくは獨言のやうに、また春之助に訊ねるやうに云つた。

春之助はすぐにおろくが刺青師になつてゐた森宗意軒に忍びの術を學んだといふことを知つたのであつた。

『帝兵衛老人は最うこの世には居らん』

『えツ！』

と、おろくは顔の色を變へたが春之助の眼に次第に浮いて來る涙を見て、何だか自分も悲しさうに眼をしよぼ〱させて視線を膝の上へおとした。

源太はおろくが森宗意軒の寵手に[illegible]はされてゐた一人だといふことは、彼女の大蛇刺青を見て知つてゐるので、いかに雲仙嶽の手が長く延びてゐたかを今更怖ろしく感じた。が、春之助が[illegible]心を捨てて町奴の群に入れば、最う殆ど完全に雲仙嶽の餘黨が、江戸の市中から減んだのも同樣だと、肚の底でひそかに悦んだのであつた。そして、

『伊豆守様も定御滿足だらう』

と、口のうちに呟く。

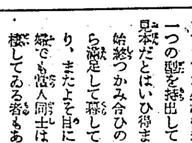
——×——×——

若しい窓の下から、岡吉殿は大納言殿の[illegible]にあやまられ勝なことを語つた。[illegible]か胸の憐みかお[illegible]する際に[illegible]いたか、じつと[illegible]を聞いてゐた五左衛門も、やがて此の[illegible]る様な[illegible]、この[illegible]の爲めに生れる[illegible]

家庭

何が良縁か？

田中孝子



「何をもつて良縁といふか」さあそれが、世の中にはいろ〳〵な性格の所有者があり、さまざまな生活様式もあるので、一つの型を持出してこれが良縁の見本だとはいひ得ません。

始終つかみ合ひの喧嘩をしながら滿足して暮してゐる人達もあり、またよそ目には申分ない夫婦でも當人同士は空虚な心で同棲してゐる者もある有様です。

しかし、一般に常識的の見方からすれば、昔からいふ「釣合」も重大な要素で、即ち身分、家庭、教育、趣味、健康状態等に大した差異がなく、年齢の差は十歳以内といふところでせう。

かうした諸點が十分に合致してゐるのはのぞましいことですが、さう理想通りの人間がゐるはずもなく、この結婚難時代にあまり選りこのみしてゐるうち、いつか自分が取殘されてしまふかも知れません。

ですから、客觀的條件は多少不滿はあつてもほゞ合致してゐればよいとして、あとにはもう一つ大切なことがあります。

それはお互の性格が合ふか、好きになれるかといふ問題で、假令釣合のとれた夫婦でも愛情をもつてゐなければ惨めで、昔の結婚はこの點を無視したゝめに悲劇がかもし出されました。といつて後者のみを基礎とする戀愛至上主義の結婚にも弊害が伴ひます。菊池寛氏の「芽の屋根」がそれです。

良縁を得ようとするには智慧と誠意と努力とが必要です。經驗のある讀者とかかしこい指導者とかの意見を參照しながら、自分の眼で相手を觀察し、選擇する聰明さがほしいものです。

そして自らえらんで結婚した上はどこまでも責任を持ち夫婦生活をよきものに築き上げるべく努力すべきです。それには眞心を以て配偶者の立場や氣質を理解し同情し自らをさゝげて償まない、熱誠がなければなりません。

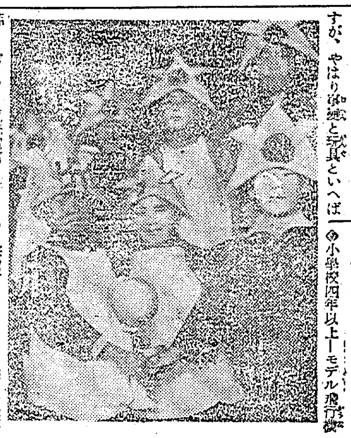
これさへあれば、多少の不釣合や、種々の難關も切り拔けられます。その上は運命の問題ですが、運命も大部分自分で開拓して行く事が出來るものです。

世はさまざま

◇火保險問題

目下厚生省では、[illegible]値上以來指先を火傷する者が續出するので、對策に腐心中である

近頃の子供は　どんな玩具を好むか



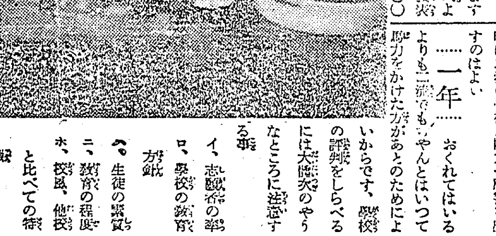
子供の好む玩具は一番玩具屋に行つてその賣行きの大勢を知る事ですが、やはり事變と玩具といへば誰しも軍事物の全盛流行でまさに常識通り軍事物の洪濫です、したがつてその賣行を調べていかに近頃の子供の玩具趣味の大勢が心がけます、今東京の三越の本店の玩具賣場で本社の調査によりますと、たとへば乘りもの、玩具ですが、木製、金屬製を通じて軍事ものは從來全體の一割程度の賣れ行きでありましたが、昨年夏以來軍事ものが七割、普通のものが三割といふ風に變化しました、しかし普通もの、賣れ行きも事變前の四五割程度の減少ですから

結局 軍事もの、増加で玩具全體で三割近くの賣り上增となり、各玩具屋さんも同様の傾向でこのところ販賣數量を擴張してゐます

◇三、四歳から五歳用―小さい子供が引いて歩く木製玩具は、昔の電車や自動車にかはつて戰車、裝甲自動車が賣れ行きの大部分を占めてゐます

◇五、六歳から小學二年生―この年頃の子供には兵隊遊びの道具としての玩具が一番受けます、從つて單純で實用的なものほどよく鐵甲、新軍刀、機關銃、背嚢それに玩具ではありませんが軍隊的もなくてはならぬものです、女兒用には銃後風景のたすきを模倣したものがあります、ゼンマイ仕掛の動く **玩具** では宙返り飛行機、方面陸戰の發火タンク等が最新流行の品です

◇小學校四年以上―モデル飛行機が大流行です、これは新しい裝飾用として机の上や、壁をかざるのですが、既成品の外に組立用の部分品があり、組立ての面白さと裝飾的な美しさからよろこばれてゐます、以前に旅客機や戰鬪機、爆撃機といつたものが大部分でしたが最近では軍用機特に海軍の艦上戰鬪機、偵察機が好評です、一般に新しいもの程歡迎されますので九二式より九三式、九三式より九四式、進んで公式には未發表でも新聞その他に寫眞の出た〇〇式といつたものが要求されるので、子供の機械その他に對する知識は驚く程で、新しいものを出した時「こゝが違つてゐる」「こゝが違ふ」などゝ **指摘** され、商賣人が敎へられるやうな事さへあります



海軍關係では飛行機と聯繫して航空母艦、支那事變にからんで驅逐艦の模型などもよく出ます

◇子供、大人を通して―遊び道具として空襲ゲーム、防空ゲームなど十種類にかり同工異曲のものが出てゐますが、それも事變以來の事です、麻雀、トランプの賣れ行きがわるくなつたのも時局柄でせう

◇お人形の方面―こゝでも軍裝もの、銃後服を着たものなどが相當出ます。これと銃後風景のたすきに女兒用玩具の事變色が出てゐるのです、とにかく子供の玩具は日常眼にはいる事物によく似てゐればゐる程歡迎されるもので、空想的なオモチヤ、外國には實物があつても日本では關係のない飛行機類花車などゝいつたものに割合に受けません

女學校の校風と　内容を知れ

惱める父母に與ふ

學校の種類、例へば中學なら中學商業なら商業と目標をさだめたら同じ種類の學校でも志願者の數公私立、學校の評判等をしらべてから願書を出すがよい志願者の多い學校に受ける能力はあるが及第するかどうか自信のない時は二校の學校と兩方へ願書を出すのはよい

一年 おくれてはいるよりも二流でもちやんとはいつて馬力をかけた方があとのためによいからです、學校の評判をしらべるには大體次のやうなところに注意する事

イ、志願者の率

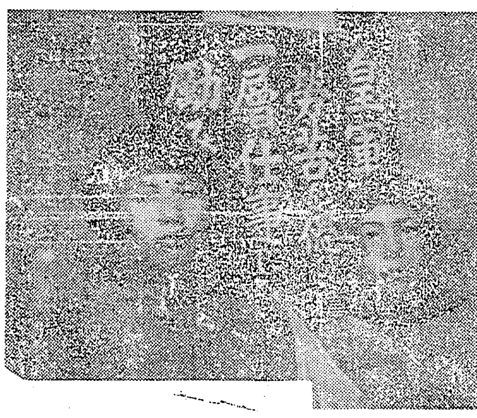
ロ、學校の教育方針

ハ、生徒の素質

ニ、教育の程度

ホ、校風、他校と比べての特徴

等の外に、地理的に考へて、身體の弱い子供ならごみ〳〵した場所の學校より郊外にある方がよく、また寄宿舎へ入れる程遠い場所にある學校より、家から通はせる方が無事です



殊に 女學校の場合は學校の評判をしらべて入れないと間違ひが多く、私立あたりでは非常に特殊な教育を行つてゐるのもあるからよく見さだめて選ぶことが大切です「僕は算術だけでも十五へんやつたよ」「僕は模擬試驗を四へん受けた」可憐な受驗兒童の會話を聞いてゐるとこんな事を話し合つてゐる子供自身も兩親も受驗勉強の能率を上げるには、なるべく回數を多く澤山詰込んだ方が勝ちだと考へがちなのは無理もないが、問題は回數よりも勉強を上手に合理的にやつた方がずつと疲勞すくなく、當然と頭に入つて効果があります

讀方 算術、地理、歴史いづれも萬遍なく繰返すより、自分の不得手な個所をつゝ込んで勉強し、試驗日頃は大體各科とも同じやうに頭にはいつてゐるやうにする、同じ算術でも、自分の不得手な方面は他と足並がそろふまでやるがよい

學校 の先生はこれらの受驗兒童の指導には大變な苦勞をするが受驗生の人數が多いと何うしても一人々々の短所に關して敎へるわけにはいかないので、算術だけ得意な子にも讀方の不得手な子にも同じやうに敎へ込みやすい、從つてこの點には親がくれぐれも注意して正しくおぎなつてやる必要があります

ほくろ十態

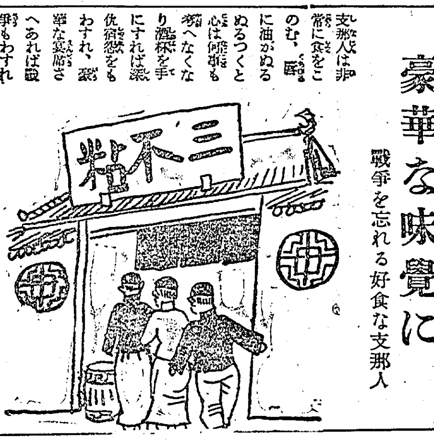
ずつと下つて足にほくろのある人は才は少し足りないが、健康にめぐまれ何事にもこだわりなく明るい人生に生きることが出來るし、男なれば名を露す相ですから未來の方は男性の足に注意すべし。

反對に婦人の場合は、やはり元氣で少々足りないが、親切なこと人一倍ですから、その點を大いに買つてやつてもらひたい。

▲支那點描▼

豪華な味覺に

戰爭を忘れる好食な支那人



支那人は非常に食をこのむ、唇に油がぬるぬるつくと心は何事も考へなくなり酒杯を手にすれば家仇敵をもわすれ、豪華な宴席さへあれば戰爭もわすれる事が出來る人種である、なにをさておいても飽食をあたへてくれさへすれば支那人は忠實に主人のいふがまゝにつかへてゐる、この様に食ふ事だけしか考へぬ支那人だから又料理屋も非常に多い、その中でも北平の料理はズバ拔けて安價である、たら腹食つてもせいぜい三元か五元ですんでしまふ、貧乏人は七八錢で食へる、七八錢で物價の高い今日料理店でたべられるのは北平にのみ見られる特殊風景である、原料は玉子と油と香料とだけだから北平で「三不粘」（粘はネベル事）といふ看板を出して大當りをした店がある、つまり箸にクッツかない、匙にも茶碗にもクッツかないといふ意味で原料が原料だけにクッツかないのがアタリマヘであるが、これがとても當つたのである、又野菜料理は北平が天下一品でたとへば豆芽と豚肉料理は豆芽の芽の「頭」を取り去り、香りをなくす、これは一本一本人手でやるのだから手間がかゝつて仕様がない、しかし出來上つた料理は美味である、この様に北平は安値料理が大繁昌であるが、これも農村の極端な不景氣が原因してゐるのだが安値料理は北平の右に出るところなしである

軍國海軍小說

愛慾非常線

寺崎洋々洲作　松村秀彦畫

（[illegible]上映及上演）

……No.一二五……

失敗（一）

疾航して來るランチを今や遲しと待つて居たが、塚田刑事は驅け付けた新納部長に向ひ

『ねえ君ッ、この仕事は實に近來にない大きな捕物だが僕等の方で手を付けて居たとすれば、僕等の方ばかり功名するのも心苦しいから協力し逮捕をしやう』

流石に昔の友である塚田刑事は斯う云つて恣に自分達の功としまいとして居る、新納部長は一寸顎を下げ

『何しろ相手が却々の奴だから目屎を付けながらも裏を掻かれて居るのだから一ッ僕の顏の立つ様にして呉れ』

『良ろしい承知した』

と、其の唇を結んだ塚田刑事は

『盛で奴等の乘つて居るのは彼の帆前船なのだぜ君ッ』

指差す沖の方を眺めると、船體を鼠色に塗つた約二百噸位の帆前船は今しも頻りに糧食の積込に餘念が無い様であるが船舶が有ると見えて船の中央から一道の燻煙が風の爲にスーッと靡ざまに靡いて居る。

『あれか塚田君……』

『ウン彼の帆前船が彼の都會の本城なのだ、僕は今日まで探偵上隨分犧牲を拂つて苦心して居たのだが先刻充分に出させて居たアノ球突場から足が付いたのだ』

『さうか何にしてもお誂ね君の北海太郎も居るのだから、パッサリ捕縛ぎにする事が出來れば、實に痛快だねえ』

『ウンまあ彼の鼠も同然だ』

と、云ひ作ら塚田刑事は悠々として居るので、新納部長は氣が氣でなく

『まあさう急ぎ給ふな奴等だつて晝間は出帆せんよ、夜に紛れて出港する積りだから』

と語つて居る處へ、隼と名の付く水上署のランチが波を蹴つて海岸へピッタリと着いた。

『さあ皆んな乘り給へ』

と、塚田刑事は自署の刑事を始め新納部長の率ひる一隊を乘り組ました後機中から警笛を鳴り出し。

『そら見給へ彼の艀付けにした帆船はモウ米の積み込みを濟ましたのにあのまゝ錨鎖へ繫付けにして有るだらう、あれは夜になると彼奴等が彼の船を打つちやつて逃げて行くのだぜ君ッ、夫れに此の風では出港が出來ない』

流石に水上警務の刑事が綴繊は陸上警務の新納部長の思ひ及ばぬ個所を押へてゐる。

『ソロ〳〵行かう』

と、塚田刑事は手に命を下した塚田刑事は新納部長と何か打ち合せをした後、刑事一同は愛を船内へ隊して勇ましき帆前船へ向つて矢を射る如くに直進したが五分間の後にはランチは此帆前船の右舷側にピタリと着いた、船員の三四名が事務室へ行つたり來たりして船内は俄に色めき立つたがそんな事に頓着のない塚田刑事は流石に馴れたものである

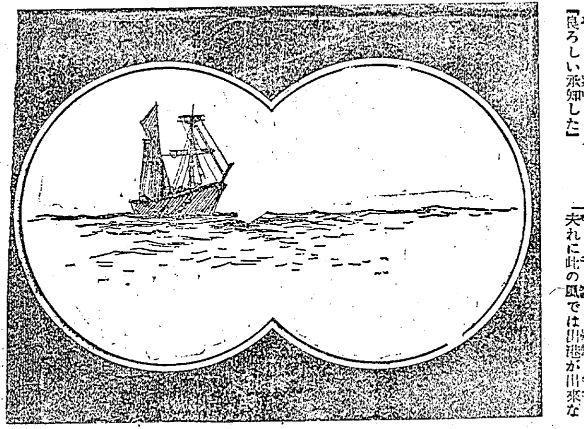
『おーい誰か居ないか事務長は』

と呼び上げると脊廣服を着た一人の男が顏を出して、

『何か御用ですか……』

『水上署の警察だ……』

と、呼ぶが早いか大船に乘り移つた、續いて新納部長も乘り移つた。



花柳病科外科
木村外科醫院
平市六丁目橋際　電話三〇九

カゼイン
壁の塗り替へは！
大谷建材店
平市紺屋町
電話三六六番

大捷春の！
獨特のコーヒーとWINE
紳士の喫茶店
グリルバツカス
サービス一割（外拝辭）
平市銀座通　TIL702

女店員募集
面白く眞面目に
安心して働ける
給料制度です
委細は本人面談

整形外科専門
レンゲドン科
大河内醫院
平市搔撞小路（電五八八）

家傳 安流丸
梅毒 瘡毒 胎毒
淋疾 吹出物 腫物 痔疾
便秘 動脈硬化症 高血壓
中風、神經痛等に特効あり
本劑は一日一回服用の珍らしい家傳藥で[illegible]ら毒氣が拔れます
定價 壹円、弐円、參円、五円、拾円
平市田町
阿部藥舗

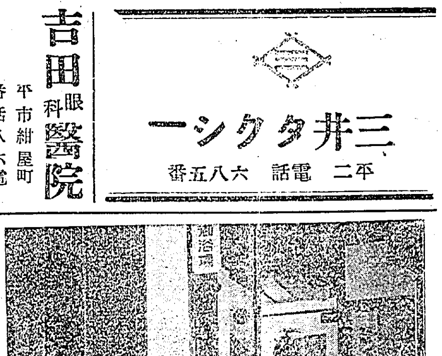
内科
外科
一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町電話三五八番

（夜間診療）
胃腸　性病
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
専門
松村胃腸性病醫院
平市南町（電話一〇七番）

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話五八番

三井タクシー
平二　電話六八五番

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番



季節珍味
小鳥料理
鐵道省指定旅館
割烹
小瀧
電話小名濱一〇三番

昭和十三年度
入學生募集人員
本科（修業年限二ヶ年）五〇名
技藝科（修業年限一ヶ年）五〇名
專攻科（修業年限一ヶ年）二〇名
各科二年補欠入學生　若干名
課外教授
本校生徒ハ希望ニ依リ左記科目ノ習得ガ出來マス
タイプライター　將來職業婦人タラントスルモノ
琴、生花　家庭婦人トシテノ準備
ピアノ　音樂研究を志スモノ
洋裁　洋服裁縫ヲ研究セントスルモノ
『タイプライター』修得者ハ本校ニ於テ就職ヲ斡旋致シマス
文部大臣認可
平陽女學校
平市搔撞小路二十番地
電話四四五番
振替口座仙臺五六八二番

御贈答に……
美味
鰹節
鰹鹽から
魚問屋
志賀盛榮商店
平市四丁目（電話二一三番）

◎評判の美味しい"みつ豆"始めました
蜂蜜入フルーツ　みつ豆
東京風アン　みつ豆
電話二八　福壽軒

上原家政婦會
平市紺屋町二一
會主産婆　上原通子
電話二二番
産婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス。

◎此程……開店致しました
何卒御贔屓に願ひます
御料理　一良久
平市田町（元照よし跡）
電話三九九番

國旗と提灯
平四　スカノヤ　電九五

美味！芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番